

心理小委員会 活動報告

心理小委員会
小委員長 和氣 典二

1. 研究目的

心理小委員会では、「公共的地下空間の知覚環境に関する研究」をテーマとし、心理学の観点から、地下空間における人間の行動について研究し、公共的地下空間の多様な利用者の知覚環境、災害時行動などに重点を置き、その成果を実際の地下施設への適用を検討することを目的とする。さらに移動手段の違いによる心理的・生理的負荷やQOLによる地下空間の評価についても検討を行うものとする。

2. 研究内容

2.1 テーマ

- (1) 重点研究課題「地下鉄火災調査」関連
- (2) 土木・心理・建築からみた地下空間 - 仮称「わかりやすい地下空間と人間」の考えと展開
- (3) 移動手段の違いによる生理的・心理的負荷の程度や深度による影響の研究
- (4) QOLによる地下空間の評価

2.2 基本方針

- ・重点研究課題「地下鉄火災調査」に関連して、日本と韓国の地下空間イメージ調査を行い、比較検討を行う。
- ・各分野からの話題提供を頂きまとめていく。
- ・移動手段の違いが年齢によってどれくらいの疲労感をあたえるか、実空間を用いて心理的・生理的に調査する。
- ・QOLを用いた地下空間の評価手法について検討を行う。

2.3 概略スケジュール

平成 17 年度	情報・資料の収集・整理およびアンケート調査実施
平成 18 年度	同上
平成 19 年度	フィールド実験，アンケート調査の実施，報告書作成

3. 活動経過

平成 19 年 1 月 29 日 名古屋駅周辺最新地下施設見学会

平成 19 年 1 月 29 日 第 8 回小委員会

話題提供 中京大学吉本直美氏、「高齢視覚障害者の QOL について」

話題提供 東京消防庁佐藤歩氏「地下駅舎の避難実験について」

話題提供 三田幹事「地下空間の QOL を用いた評価手法について」
WG 活動について

平成 19 年 4 月 6 日 第 9 回小委員会

安全・安心まちづくり研究会からの協力要請について（水口委員）

地下鉄フィールド実験について（西田委員、佐藤氏）

能登半島沖地震現地調査報告（西田委員）

平成 19 年 4 月 14 日 地下鉄フィールド実験の実施



平成 19 年 6 月 27 日 第 10 回小委員会

話題提供 名城大学藤田助教授「蓄光式避難誘導標識の現状について」

地下鉄フィールド実験報告（佐藤氏）

丸の内地区現地調査会報告（三田幹事）

平成 19 年 9 月 29 日 第 11 回小委員会

地下空間研究委員会報告（三田幹事）

報告書作成について

平成 19 年 12 月 25 日 第 12 回小委員会 予定

4. 委員名簿

役職	氏名	勤務先	役職	氏名	勤務先
委員長	和氣 典二	中京大学	委員	中村 廣史	
副委員長	市原 茂	首都大学東京	委員	西 淳二	NPO法人 J オフパ-フォーラム
委員	榎本 博明	名城大学	委員	西田 幸夫	東京理科大学
委員	神作 博	中京大学	委員	本多 薫	山形大学
委員	佐藤 歩	東京消防庁	委員	松本 直司	名古屋工業大学
委員	清水 則一	山口大学	委員	三島 和子	(株)インターリスク総研
委員	関口 佳司	関口佳司景観研究所	委員	水口 雅晴	三菱地所(株)
委員	高井 智代	(株)I N A X	委員	向井 希宏	中京大学
委員	床尾あかね	東京海上日動リスクコンサルティング(株)			
委員	富田 剛久	(株)オオバ	幹事	河本健一郎	中京大学
委員	土門 剛	首都大学東京	幹事	三田 武	(株)日建設計ビル

(平成 19 年 10 月現在)